



## 見事な筆遣い！のびのびと力強く！ 八雲地域・熊石地域 席書大会

1月5日、「熊石地域児童生徒新春書初め席書大会」が行われ、児童生徒34人が「みかん」「白い大地」「雄大な自然」など、学年別の課題にそれぞれ取り組み、見事な筆遣いで会心の1枚を書き上げました。

また、1月8日には「八雲地域小中学生新年席書大会」が行われ、児童生徒79人が「ひつじ」「すんだ空」「全力疾走」など、新年や自身の目標に関することを、のびのびと力強い筆跡で書き上げました。

両地域とも、見守る保護者からの声援もあり、素晴らしい作品が完成しました。



## 圧巻の迫力に大興奮！ オオワシ・オジロワシの観察会

1月10日、今年度3回目の事業となるユーラップ川自然体験学習会にて、「オオワシ・オジロワシの観察会」が行われ、子どもから大人まで計11人が参加しました。

観察会では、オオワシやオジロワシが「ホッチャレ」を食べる様子やオオワシが参加者の上空を飛ぶ姿など、予想以上の迫力に興奮気味で観察を行いました。また、講話ではオオワシとオジロワシの見分け方や、ユーラップ川に来る理由が講師の稗田一俊さんから説明されました。

なお、ユーラップ川自然体験学習会は、今年度最後の学習会として「鮭の稚魚観察会」を3月中旬以降に開催予定です。



## 事業内容を確認！今後とも役割に期待！ 八雲町情報交流物産館「丘の駅」 事業説明会

1月16日、八雲町情報交流物産館「丘の駅」について、事業説明会および現地視察が行われ、17人が参加しました。

事業説明会では、商工観光労政課の職員より丘の駅の設置目的や運営の仕組み、現在の状況などを説明し、「八雲町の魅力の根本は農業や漁業にあると思っている。丘の駅を中心に、観光・物産メニュー開発・プロモーション活動等を通じ、一次産業を盛り上げながら町の魅力を一層成長させたい」と話しました。また、丘の駅の現地視察では、参加者より「魅力ある食材だけど、調理方法がわからない。調理方法のポップ広告などが欲しい」などの意見や、「野菜のスペースを広くするのはどうなのか」「観光客には需要が少ないから今のままでいいのでは」など参加者同士で意見交換も行われました。

八雲町の魅力発信の拠点として、今後も八雲町情報交流物産館「丘の駅」の役割が期待されます。

